

消防団たずね歩き

「西消防団押部谷支団の歴史」

昭和 22 年 3 月 1 日、明石郡押部谷村が神戸市に合併し垂水区に編入され、同年 10 月神戸市消防団条例の公布を受け、同年 11 月押部谷消防団が発足しました。

この地域は、古くから稲作を中心とした農村地域で、都市と隔離したなかで伝統文化を絶やすことなく、むしろ町民の心のよりどころとして育み、発展してきました。古来、忍海部造によって支配されたことから、現在の名前が生まれたと伝えられるように、古くから開けた土地柄で、多くの神社仏閣や史跡が残され、暮らしの文化や伝統芸能が現在に受け継がれています。昭和 30 年代には栄地区において、観光イチゴ狩りが始まるなど、従来の稲作中心の農業からハウス栽培等による軟弱野菜の栽培やイチゴ、菊等の都市近郊型農業が営まれてきました。さらに現在では、神戸ワイン用のブドウや梨の栽培、畜産経営も定着しています。

「消防操法大会」

昭和 41 年第 1 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部、昭和 53 年第 7 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部、平成 24 年第 24 回兵庫県消防操法大会小型ポンプの部に出場しました。

「最後に」

3 月に神戸市西消防署と合同で林野火災訓練を実施しました。また、今年度消防署との連携訓練を行い、災害対応力の強化をしていきたいと思えます。

西消防団押部谷支団本部 分団長 田中 靖之

山本 晃裕

